



●宿泊する防災イベントを開催

こんにちは！サウナ・スパ健康アドバイザー（総務課連携担当）の渡邊です。

3月といえば3月7日の「サウナの日」。この機会に訪れたいのが、静岡市のサウナの聖地「サウナしぎし」です。聖地と呼ばれる由縁は114℃の超高温サウナと、富士山の湧水を使った水風呂。レトロな雰囲気と24時間営業の便利さも魅力で、サウナ初心者から玄人まで満足必至！ぜひ「聖地」で特別なととのいを体験してみてください。

特別な体験といえば、2月9日〜10日に宿泊イベント「地元企業のシ

ラフで体験する『フェーズフリーな眠りの備え』を開催しました。イシケン株式会社様、株式会社啓文社様、大との産学連携事業で、今回で2回目！イシケン様の着たまま眠れる「ZUBORANユラフ」「BOO-SAI」を着て、啓文社BOOKS PLUS緑町に泊まるという貴重なイベントです。

新しい防災コンセプト「フェーズフリー」の紹介、本学教育学部の平野晋吾先生による睡眠プチ講座と快眠ストレッチ、附属図書館の選書案内、カップライメンを水で作る避難所食体験、ラジオ体操などさまざまなプログラムを用意し、最後には身近なフェーズフリーについて考えたことを発表し合いました。

イベントには、教育学部・都市経営



学部の1〜3年生11名の学生が参加。「イレギュラーなことだらけですごくいい経験だった！」「避難時を想定して過ごすのは貴重な経験だった」など、普段とは違った場所での生活や睡眠のしづらさを体験する良い機会になりました。

●「おはなし会」を開催しました！

はじめまして、附属図書館の後藤です。2月14日に、小松安弘記念館の乳幼児向けのスペースで「おはなし会@福山市立大学」を開催し、たくさんの方の方々にお越しいただきました。本学学生の保育サークル「てくてく」のメンバーによるもので、大学附属図書館が所蔵する大型絵本や紙芝居の読み聞かせや、エプロンシアターやパネルシアターを披露しました。



皆さんはエプロンシアターやパネルシアターをご存じですか？これらは演じる学生が身に着けたエプロンやパネルを舞台上に見立て、人形をエプロンポケットか

ら出し入れしたり、パネルに張り付けたりして展開する人形劇です。参加した子どもたちも一緒に手をたたいて楽しめたようで、会は和やかな雰囲気でした。

出演した学生の杉野優奏さん（教育学部児童教育学科保育コース4年）は、「演じながら話しかけることで、子どもが応え、ほかの子どもたちも次々に反応していきました。その場がどんどんあたたかくなるのを感じ、「これぞ保育だ!!」と実感することができました」と声を弾ませました。これからも附属図書館の図書資料を活用して、楽しいイベントを開催していきたいです。

FUKUYAMA CITY UNIVERSITY 福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

2027年4月、新たに「情報工学部（仮称・設置構想中）」を開設予定。

【問い合わせ先】

福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集